

記載例

一般粉じん発生施設設置（使用、変更）届出書

(あて先) 宇都宮市長

〇〇年 〇〇月 〇〇日

該当する事項以外を抹消

必ず記載すること

届出者

氏名又は名称及び住所並びに
法人にあつてはその代表者の氏名

(電話番号) 〇〇市〇〇町〇〇-〇〇
〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

〇〇会社 代表取締役 ○ ○ ○ ○ 印

社印及び代表者印

大気汚染防止法第18条第1項 (第18条第3項、第18条の2第1項) の規定により、一般粉じん発生施設について、次のとおり届け出ます。 粉じん発生装置を使用する工場名等を記入する

工場又は事業場の名称	〇〇会社〇〇工場	※ 整理番号	
工場又は事業場の所在地	〇〇市〇〇町〇〇-〇〇 〒〇〇〇-〇〇〇〇	※ 受理年月日	年 月 日
一般粉じん発生施設の種類	5 ふるい×1基	※ 施設番号	
一般粉じん発生施設の構造並びに使用及び管理の方法	別紙1から別紙4のとおり。	※ 審査結果	
		※ 備考	

備考 1. 一般粉じん発生施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行令別表第2に掲げる項番号及び名称を記載すること。

2. ※印の欄には記載しないこと。
3. 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
4. 届出書及び別紙の用紙の大きさは、函面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。
5. 氏名(法人にあつてはその代表者の氏名)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあつてはその代表者)が署名することができる。

一般粉じん発生施設（コークス炉）の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号		第1連	第2連
名称及び型式		コークス炉〇〇〇式	コークス炉コッパーズ式
設置年月日		〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日
着手予定年月日		〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日
使用開始予定年月日		〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日
規模	原料の処理能力(t/日)	〇〇 t/日	〇〇 t/日
	炉室数	〇〇	〇〇
	炭化時間(h)	〇〇 h	〇〇 h
装炭作業	一般粉じんの処理装置の種類・型式	〇〇装置〇〇式〇〇型	〇〇装置〇〇式〇〇型
	集じん機効率(%)	〇〇 %	〇〇 %
	送風機の原動機出力(kw)	〇〇 kw	〇〇 kw
窯出し作業	一般粉じんの処理装置の種類・型式	〇〇装置〇〇式〇〇型	遠心力集じん装置 マルチサイクロン式〇〇型
	集じん機効率(%)	〇〇 %	〇〇 %
	送風機の原動機出力(kw)	〇〇 kw	〇〇 kw
消化作業	一般粉じんの処理装置の種類・型式	〇〇〇装置〇〇〇式 〇〇〇型	スプレー塔 じゃま板
参考事項			

- 備考 1. 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
2. 参考事項の欄には、ガイド車の走行する炉床の強度、ガイド車の軌条の幅員等について記載すること。
3. 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの処理又は防止のための装置（フードを含む。）の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

一般粉じん発生施設（堆積場）の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号		No.1	No.2	
名称及び型式		骨材置場地下引出し式	円形野積方式	
設置年月日		〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日	
着手予定年月日		〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日	
使用開始予定年月日		〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日	
規模	面積（㎡）	〇〇㎡	〇〇㎡	
	堆積能力（t）	〇〇t	〇〇t	
堆積物の種類、性状及び通常の年間延べ堆積量（t／年）		川砂、川砂利 〇〇〇t／年	石灰石 〇〇〇t／年	
使用及び管理の方法	堆積場がその中に設置されている建築物の概要			
	散水	装置の種類・型式・基数	スプリンクラー 3基	散水パイプ 1基
		装置の能力（m ³ ／h）		
		散水の方法	受入都度	受入都度
	防じんカバーの設置状況		全面ストレート葺き上家で覆っている	
	薬液散布	薬液の種類・名称		
		装置の種類・型式・基数		
		装置の能力（m ³ ／h）		
		散布の方法		
	締固め	装置の種類・型式		
方法			ブルドーザーで締固めする	
その他	方法	スウィーパーで場内散水		

- 備考 1. 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
2. 堆積物の種類、性状及び通常の年間延べ堆積量の欄には比重、粒度、水分値の概数及び通常の年間延べ堆積量について記載すること。
3. 散水の方法、薬液散布の方法、締固めの方法及びその他の方法の欄には、実施の量（たとえば散水の場合には水量1／t）、実施頻度等を記載すること。
4. その他の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
5. 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの飛散防止のための装置の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

一般粉じん発生施設（コンベア）の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号		No.1	No.2	
名称及び型式		ベルトコンベア	バケットコンベア	
設置年月日		〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日	
着手予定年月日		〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日	
使用開始予定年月日		〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日	
規模	ベルト幅（cm）又はバケット内容積（m ³ ）	〇〇 cm	〇〇 cm	
	単基の長さ（m）×基数	〇〇 m×〇 基	〇〇 m×〇 基	
	ベルト又はバケットの速度（m/分）	〇〇 m/分	〇〇 m/分	
	運搬能力（t/h）	〇〇 t/h	〇〇 t/h	
運搬物の種類、性状及び通常の月間運搬量（t/月）		川砂、川砂利 〇〇〇 t/月	石灰石 〇〇〇 t/月	
使用及び管理の方法	コンベアがその中に設置されている建築物の概要		鉄骨ストレート葺建屋	
	集じん機	集じん機の種類・型式	バグフィルター〇〇型	
		集じん機効率（%）	〇〇 %	
		送風機の原動機出力（kw）	〇〇 kw	
	散水	装置の種類・型式	スプリンクラー	
		装置の能力（m ³ /h）		
		運搬量あたりの散水量（l/t）		
	防じんカバーの設置状況		鉄板製フード	鉄板製フード
	その他	方 法		

- 備考 1. 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
2. その他の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
3. 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの処理又は防止のための装置（フードを含む。）の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

一般粉じん発生施設（~~破碎機・摩砕機・ふるい~~）の構造
並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号		No.1 破碎機	No.1 ふるい
名称及び型式		ジョークラッシャー	トロンメル
設置年月日		〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日
着手予定年月日		〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日
使用開始予定年月日		〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日
規模	原動機の定格出力（kw）	〇〇 kw	〇〇 kw
	処理能力（t/h）	〇〇 t/h	〇〇 t/h
処理対象物の種類及び通常の月間処理量（t/月）		石灰石 〇〇〇 t/月	石灰石 〇〇〇 t/月
破碎機、摩砕機又はふるいがその中に設置されている建築物の概要		鉄骨ストレート葺建屋	鉄骨ストレート葺建屋
使用及び管理の方法	集じん機の種類・型式		バグフィルター〇〇型
	集じん機効率（%）		〇〇 %
	送風機の原動機出力（kw）		〇〇 kw
散水の方法	装置の種類・型式	高圧散水装置	
	装置の能力（m ³ /h）	〇〇 m ³ /h	
	運搬量あたりの散水量（l/t）	〇〇 l/t	
防じんカバーの設置状況			
その他	方 法		

- 備考 1. 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
2. その他の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
3. 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの処理又は防止のための装置（フードを含む。）の構造と其主要寸法を記入した概要図を添付すること。

参 考 事 項

記載上の注意 1. 届出等に係る工場・事業場の状況等について記載又は添付するものとし、番号は該当するものを○で囲むこと。

2. ※印の欄は、許可工場等の許可申請書に添付するときのみ、記載すること。

届出等担当者 (連絡先)	氏名 ○ ○ ○ ○	所 属 ○ ○ ○ 部 部 課 名 ○ ○ ○ 課	電 話 ○ ○ ○ - ○ ○ ○ ○ F A X ○ ○ ○ - ○ ○ ○ ○
公害防止責任者	職・氏名 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		
公害防止管理者	選任 ① 要 2 不要	選任要 のとき	[職・氏名 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ : 試験又は 資格の区分 大気 ○ 種]
従業員数	○ ○ 人	主 要 部 品 名 ○ ○ ○ ○	日本標準産業分類の 小分類番号・項目 ○ ○ ○ ○
特定施設メーカー名	○ ○ ○ ○ 会 社		処理施設メーカー名 ○ ○ ○ 会 社
※ 特定施設を 設置する土地	用途 地域 ○ ○ ○ ○	敷地 (既存のときの面積 ○ ○ ○ m ²) 面積等 (新規・増加のとき面積 m ² 登記地目)	
※ 特定施設を 設置する建物	新築 (床面積 m ²)	増改築 (床面積 m ²)	既存 [○ 年 ○ 月 ○ 日]
※ 工場・事業場 当初設置年月日	○ 年 ○ 月 ○ 日	水 質 関 係 特 定 施 設 当 初 設 置 年 月 日	年 月 日
※ 今回届出等 関係のある法令等	① 大気汚染防止法 2 水質汚濁防止法 3 騒音規制法 4 振動規制法 5 悪臭防止法 6 栃木県公害防止条例 7 農地法 8 農振法	9 森林法 10 都市計画法 11 工場立地法 12 新規立地事業場公害 防止事前指導要綱 13 河川法 14 建築基準法 15 土地改良法	16 廃棄物処理法 17 土砂条例 18 下水道法 19 消防法・火災予防条例 20 高圧ガス取締法 21 薬事法 22 毒物及び劇物取締法 23 その他 ()
排 水 先	直接排水先 ① 公共下水道 4 河 川 2 側 溝 5 そ の 他 3 用 水 路 ()	直接排水先が2～5のとき (水質関係の特定施設に係る 届出書又は許可申請書に添付するときのみ記載) 流入用水路名 () 流入用河川名 ()	
公 害 防 止 協 定	締結 ① 有 2 無	締 結 有 の 時 刻	[今回の特定施設等の ① 要 届出に関する事前協議 2 不要 : 事前協議 ① 協議済 要のとき 2 協議予定]
周辺における公 害苦情等の問題	現在解決して いない苦情 ① 有 ② 無	有のときは その区分	1 ばい煙 3 汚水 5 騒音 7 その他 () 2 粉じん 4 悪臭 6 振動

その他、別紙として次の書類を添付する。

1. 工場・事業場の平面図 (建物、施設等の配置状況を記載し、今回の届出施設を朱塗すること。なお、汚水に関する届出等については、排水水の汚染状態を測定するための採水場所を記載、朱塗すること。)
2. 工場・事業場の案内図 (工場・事業場に至る経路を記載すること。)
3. ばい煙に関する届出書等については煙突立面図 (主要寸法及び測定口の位置を記載すること。)及び使用燃料の分析表。

3. 届出書又は許可申請書及びその別紙に記載又は添付している事項については、あらためて記載又は添付を必要としない。